

【令和4年度 授業改善推進プラン】

板橋区立高島第五小学校

【算数】全国学力調査結果を受けて

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○6学年までに学習してきた基礎的・基本的な知識・技能の定着にはっきりとした個人差があり、両極化している。 ○学習課題に対して、既習事項を活用して筋道を立てて考えたり、見方を変えて別の方法を考えたりすることが苦手な児童が多い。 ○考えたことを順を追って、わかりやすく文章や図を使って論理的に説明することが苦手な児童が多い。 ○図形を構成する要素に着目し、図形について考察したり、作図したりすることに個人差が大きい。 ○表やグラフを理解し、ある項目にあう数を求めることはできるが、目的に応じてデータの特徴を捉え考察することに個人差がある。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識・技能の定着が十分でない児童については、新たなことを学習しても理解したり、定着したりできない。 ○文章を読んで、理解するのに時間がかかったり、適切に理解できなかったりするので、式や図に表すことに課題があり、個別の対応が必要である。 ○習熟に差があるので、見方を変えて考える場面で児童の差が大きくなり、互いの考えを共有するのが難しい場合がある。 ○図形を構成する要素に着目し、図形について考察したり、作図したりする時に、示された手順が読み取れていない。 ○分類整理されたデータが何に活用できるか、を判断することに個人差が大きい。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○宿題やベーシックドリル、ミライシードを活用し、これまでに習得してきた学習内容を繰り返し振り返る機会を設け基礎基本の学習内容の習得を徹底するようにする。 ○日常的に算数的な活動を取り入れたり、環境を整えたりすることで、関心や意欲を高めたり新しい発見につながったりするようにする。 ○文章を読み、理解するために大事な語句を確かめたり、図で表したりして文章の内容を適切に読み取れるようにする。 ○解決に導く過程を、ICT 機器やデジタル教科書を活用し、視覚を通して理解できるよう支援する。

	<p>○個別の対応は学習力向上支援員を活用していく。</p>
--	--------------------------------